

平成28年5月11日

報道機関各位

道総研 環境・地質研究本部 調査研究成果発表会（標題）

北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部（環境科学研究センター・地質研究所）では、地域環境の保全や地球環境問題、生物多様性の保全など環境に関する調査研究、エネルギー資源の持続的な利用、地質災害の防止や被害軽減など地質に関する調査研究を行なっています。

環境・地質研究本部で最近取り組んだ調査研究について、下記のとおり成果発表会を開催いたします。成果発表会には、産学官関係者以外の一般道民も参加できます（無料）。

◎地質研究所の研究発表（5月19日）

これまで明確な判別が難しかった津波堆積物の認定や活火山、海底地すべりなどの防災関連研究や近年社会問題化している土壌汚染対策、北海道の重要なエネルギー・観光資源である地熱・温泉などについて、最新の研究成果を発表します。

◎環境科学研究センターの研究発表（5月20日）

近年注目を浴びているPM_{2.5}など大気汚染問題、地球温暖化にも関係する積雪量の長期変動、人間との軋轢が社会問題化しているエゾシカ・ヒグマ対策などについて、最新の研究成果を発表します。

※プログラムの詳細につきましては、別添のチラシをご覧ください。

◎日 時

平成28年5月19日（木） 11:00～16:10 （地質研究所）

平成28年5月20日（金） 9:20～15:10 （環境科学研究センター）

◎場 所

北海道総合研究プラザ 1Fセミナー室（住所：札幌市北区北19条西11丁目）

◎報道（取材）に当たってのお願い

- ・取材を希望される場合は、当日、会場入口にて受け付けいたします。
- ・発表者への個別取材を希望される場合は、時間調整等を行ないますので、できるだけ事前にご連絡願います。

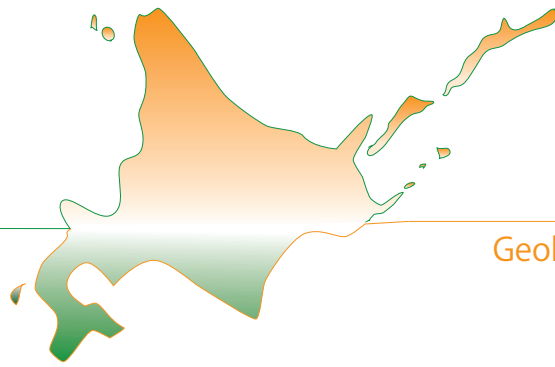
詳しくはこちらへお問い合わせください。

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構（道総研）

環境・地質研究本部 企画調整部企画課

電話 011-747-3532 ※平日8:45～17:30 土・日はお休みです。

※申し込み締め切りは5/13までという表示が一部にありますが、それ以降でも受け付けいたします



平成28年度

環境・地質研究本部

調査研究成果発表会

日程 平成28年5月19日(木)・20日(金)

会場 北海道総合研究プラザ 1F セミナー室
札幌市北区北19条西11丁目

地質研究所

5月19日(木) 11:00~16:10

- 10:20~11:00 受付
- 11:00~11:10 開会挨拶
- 11:10~11:20 沿岸地質関連課題の紹介
- 11:20~12:00 口頭発表(沿岸地質関連課題)
- 12:00~13:00 ポスター発表・受付・休憩
- 13:00~13:30 地質研究所第二期の研究戦略
- 13:30~13:40 防災地質関連課題の紹介
- 13:40~14:20 口頭発表(防災地質関連課題)
- 14:20~14:50 ポスター発表・休憩
- 14:50~15:00 資源環境関連課題の紹介
- 15:00~16:00 口頭発表(資源環境関連課題)
- 16:00~16:10 閉会挨拶

環境科学研究センター

5月20日(金) 09:20~15:10

- 08:50~09:20 受付
- 09:20~09:30 開会挨拶
- 09:30~11:30 口頭発表(環境保全部)
- 11:30~12:00 ポスター発表Ⅰ(環境保全部関連)
- 12:00~13:10 休憩
- 13:10~13:40 ポスター発表Ⅱ(自然環境部関連)
- 13:40~15:00 口頭発表(自然環境部)
- 15:00~15:10 閉会挨拶

参加無料

参加申込方法

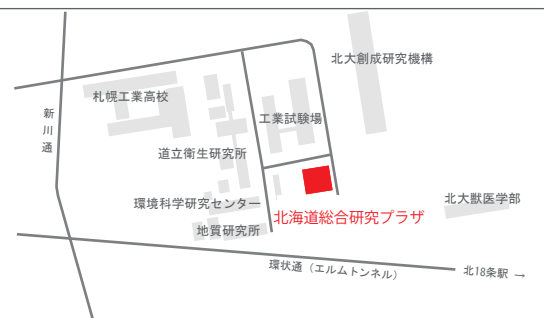
参加日(5/19・5/20)・所属・職・氏名・住所・電話番号を明記の上、5/13(金)までにメール・FAX・郵送のいずれかでお申し込みください。

申込先・お問い合わせ

地方独立行政法人

北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部 企画調整部 企画課
〒060-0819 札幌市北区北19条西12丁目
TEL: 011-747-3532 FAX: 011-747-3254
E-mail: eg-moushikomi@ml.hro.or.jp

会場案内



(アクセス方法の詳細は <http://www.hro.or.jp/hro/about/access.html> をご覧ください)



- 10:20 ~ 11:00 ● 受付
- 11:00 ~ 11:10 ● 開会挨拶
- 11:10 ~ 12:00 ● 口頭発表(沿岸地質関連課題)
- 沿岸地質関連課題の紹介 資源環境部長 高橋徹哉
 - 北海道沿岸底層の流れとベッドフォーム・底質分布 —津波の影響は? ; 津波数値シミュレーションによる検討—
..... 仁科健二・内田康人・川上源太郎・嵯峨山 積(NPO 法人北海道総合地質学研究センター)
 - 音響探査により屈斜路湖で確認された湖底地すべり活動
..... 内田康人・岡崎紀俊・山崎新太郎(北見工業大学)・高橋浩晃(北海道大学)
- 12:00 ~ 13:00 ● ポスター発表・受付・休憩
- 13:00 ~ 13:30 ● 地質研究所第二期(平成27年~平成31年)の研究戦略 地質研究所所長 秋田藤夫
- 13:30 ~ 14:20 ● 口頭発表(防災地質関連課題)
- 防災地質関連課題の紹介 地域地質部長 丸谷 薫
 - 津波履歴の精度向上に向けた津波堆積物の認定手法に関する研究 —化学分析・有機質微化石分析からのアプローチ—
..... 加瀬善洋・川上源太郎・林 圭一・仁科健二・卜部厚志(新潟大学)・高清水康博(新潟大学)
 - 地球科学的総合調査による十勝岳火口域の地下構造の検討
..... 重点研究「十勝岳」調査チーム(発表者:高橋 良)
- 14:20 ~ 14:50 ● ポスター発表・休憩
- 14:50 ~ 16:00 ● 口頭発表(資源環境関連課題)
- 資源環境関連課題の紹介 資源環境部長 高橋徹哉
 - 北海道における地熱ポテンシャルマップ改訂について —その1—
..... 岡 大輔・鈴木隆広・林 圭一・田村 慎・大森一人・大津 直・高橋徹哉
 - 有珠山周辺の地熱・温泉資源に関する研究
... 田村 慎・柴田智郎(京都大学)・鈴木隆広・岡 大輔・林 圭一・大森一人・高橋 良・岡崎紀俊・大津 直・高橋徹哉
 - 西北海道に分布する天然地質材料の重金属等吸着性能 —建設残土対策への利用可能性— ... 野呂田 晋・荻野 激
- 16:00 ~ 16:10 ● 閉会挨拶

ポスター発表プログラム

- 重点研究「日本海沿岸における過去最大級津波の復元」中間報告 —1741年渡島大島山体崩壊津波の復元—
..... 川上源太郎・加瀬善洋・仁科健二・廣瀬 亘・石丸 聡・伊尾木圭衣(北海道大学)・谷岡勇市郎(北海道大学)
- 十勝平野管内(北~北東部)表層地質図の編纂 廣瀬 亘・鈴木隆広
- 熱水化学成分のモニタリング結果 —洞爺湖温泉地域における地熱構造ボーリング(KH-1)井—
..... 大森一人・鈴木隆広・田村 慎
- ジオサイトの利活用促進に向けたデータベースの構築 鈴木隆広
- 休廃止鉱山鉱害防止対策における新たな取り組み —パッシブトリートメントの時代へ—
..... 荻野 激・野呂田 晋・遠藤祐司
- 亜寒帯閉鎖性水域における流域環境保全研究(風連湖) 檜垣直幸・輿水健一・内田康人・大澤賢人・高橋 良

08:50~09:20 ● 受付

09:20~09:30 ● 開会挨拶

09:30~11:30 ● 口頭発表(環境保全部)

- 北海道における積雪水量の長期変動 鈴木啓明・山口高志・秋山雅行・野口 泉
- 全道積雪調査(1988-2016)について 山口高志・野口 泉
- 降雪中のダイオキシン類について 永洞真一郎・姉崎克典
- 塗膜中 PCBs の組成と汚染由来 姉崎克典・大塚英幸・野口 泉
- 河川水中における高親水性殺菌剤カスガマイシン、バリダマイシン A の高感度分析法の開発 ... 仮屋 遼・田原るり子
- 富良野圏域 5 市町村が処理する有機系廃棄物のエネルギー利用に関する検討
..... 阿賀裕英・小野 理・福田陽一朗・石井一英*・藤山淳史*(*北海道大学)

11:30~12:00 ● ポスター発表 I (環境保全部関連)

12:00~13:10 ● 休憩

13:10~13:40 ● ポスター発表 II (自然環境部関連)

13:40~15:00 ● 口頭発表(自然環境部)

- ドローンを用いたヒグマによる農作物被害調査の試行 釣賀一二三・近藤麻実
- 野外で採取したヒグマの糞を用いた個体識別手法の検討 近藤麻実・釣賀一二三
- エゾシカが釧路湿原の植生に及ぼす影響評価指標種の抽出
..... 島村崇志・稲富佳洋・西川洋子・宇野祐之・日野貴文*・宮本雅美*・吉田剛司*(*酪農学園大学)
- 遊水地として活用される湿地帯における水環境の特徴
..... 石川 靖・島村崇志・西川洋子・玉田克己・矢部和夫(札幌市立大学)

15:00~15:10 ● 閉会挨拶

ポスター発表プログラム

- 地域スケールの温室効果ガス排出インベントリ - 世帯属性を考慮したメッシュ単位排出量推計 - 濱原和広
- 気候変動に対する適応策・緩和策の情報集約・発信に関する研究 丹羽 忍
- 北海道における PM2.5 濃度の長期変動と地域特性について 秋山雅行・大塚英幸・芥川智子
- 北海道内の都市と清浄地域の大气中フロン類濃度について 芥川智子・秋山雅行
- モデルを用いた多量排出化学物質の環境中濃度推定 田原るり子・仮屋 遼・芥川智子
- 鋼構造物塗膜中有害物質調査 大塚英幸・姉崎克典・野口 泉
- 釧路湿原周辺の未利用牧草地の実態について - 栄養塩類の動態に着目して -
..... 木塚俊和・小野 理・三上英敏・亀山 哲(国立環境研究所 生物生態系環境研究センター)
- 根釧台地酪農河川における家畜排せつ物法施行後の負荷変動に関する研究 三上英敏・五十嵐聖貴
- 札幌市内小学校校庭における冬期飛来塩分量の評価
..... 野口 泉・山口高志・辻野二郎*・藤原大作*(*北海道電力株式会社)
- 北海道の森林環境におけるライントランセクト法を用いたニホンジカ個体群密度の推定
..... 宇野裕之・上野真由美・稲富佳洋・長 雄一・明石信廣*・雲野 明*・南野一博*(*道総研林試)
- 複数の植物指標種を用いたニホンジカの生息密度評価
..... 稲富佳洋・宇野裕之・長 雄一・上野真由美・明石信廣(道総研林試)
- 釧路湿原内のエゾシカ管理に寄与するタンチョウの飛来状況調査手法の開発
..... 長 雄一・上野真由美・宇野裕之・日野貴文¹・上原裕世¹・
吉田剛司¹・小林聡史²(¹酪農学園大学,²釧路公立大学)
- 野生ニホンジカの牧草地利用実態の解明とそれに基づく個体数管理技術の検討 亀井利活
- 野幌森林公園文京台地区の草原植生の変遷 - 外来草本とササの関係 -
..... 西川洋子・島村崇志・宮本雅美(酪農学園大学)

会場案内



(アクセス方法の詳細は <http://www.hro.or.jp/hro/about/access.html> をご覧ください)

地方独立行政法人

北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部

地域環境の保全や地球環境問題、生物多様性の保全、地震、火山、地すべり等の地質災害に対する防災・減災、温泉・地下水・鉱物など資源の有効利用、環境保全に関する調査研究を行っています。

<http://www.hro.or.jp/list/environmental/>

● 環境科学研究センター



環境保全部

地球・大気環境グループ
情報・水環境グループ
化学物質グループ

自然環境部

生態系保全グループ
保護管理グループ
道東地区野生生物室
道南地区野生生物室

大気汚染、水質汚濁、化学物質による環境汚染、温暖化などの地球環境問題のほか、野生動植物の保護管理の調査研究を実施しています。

札幌市北区北19条西12丁目

TEL 011-747-3521

FAX 011-747-3254

<http://www.hro.or.jp/list/environmental/research/ies/>

● 地質研究所



地域地質部

地質情報グループ
地質防災グループ

資源環境部

資源環境グループ
沿岸地質グループ

全道の地質的な特性を踏まえた国土の利用や保全対策、地震・火山等、地質に関わる自然災害の防止、地下資源開発、地下環境汚染、海洋地質等に関する調査研究を実施しています。

札幌市北区北19条西12丁目

TEL 011-747-2420

FAX 011-737-9071

<http://www.hro.or.jp/list/environmental/research/gsh/>